

富士山風船 取扱説明書

表



裏



セット内容 富士山風船 10 枚

風船サイズ：ふくらまし前 約φ490cm
ふくらまし後 約φ480cm
材質：アルミ蒸着ナイロンポリエチレンフィルム
加工：弁付、リボン付き

⚠ 風船保管上の注意

富士山風船はフィルムの特性上、低湿度、低気温の状態になるとフィルムが伸びづらくなり破裂の原因となります。パッケージの袋には、保湿材（おしぼり）が入っており、袋のチャックを閉じて密閉することによりバルーンが水分を吸収し、伸びやすく破裂しやすい状態を保っています。ご使用の際は必要な分のみを取り出し、袋のチャックを速やかに閉じて残りのバルーンを保管してください。

⚠ ふくらます時の注意

- 湿度の多く暖かい環境でふくらませてください。**
富士山風船はフィルムの特性上、低気温、低湿度での環境下ではフィルムが伸びづらくなり破裂しやすくなります。出来るだけ暖かく湿度の多い環境で気体を注入するようにして下さい。
- バルーンのふくらませ過ぎにご注意ください。**
温度や気圧の影響で空気やヘリウムガスは膨張しますので、バルーンのふくらませ過ぎによる破損には十分ご注意ください。内側の富士山型のバルーンはパンパンになるまでふくらませず、シワが残る程度に注入量を調整してください。
- 逆止弁の破損にご注意ください。**
バルーンは注入口についている「逆止弁」の作用により空気やヘリウムガスのもれを防いでいます。ヘリウムガスを乱暴にバルーンへ注入すると逆止弁が壊れてしまい、もれの原因となります。ヘリウムガスの注入は少しずつゆっくり行ってください。

⚠ 使用上の注意

●ヘリウムガスを吸い込まないでください。酸欠になるため大変危険です。 ●破損の原因となりますので風船に大きな力を加えないで下さい。 ●風船を濡らさないで下さい。水や汗等が付くとアルミやインクが剥離します。 ●直射日光や高温多湿を避けてご利用下さい。商品劣化の原因となります。 ●熱源・火気・鋭利なものに触れると破損します。 ●電線、線路、道路、空港の近くで使用しないでください。誤って使用すると、感電など事故の原因となります。 ●この風船は装飾専用です。お子様向けの玩具ではありません。

yokohama balloon

横浜風船 株式会社 【TEL】 045-290-8282 【FAX】 045-290-8284
【mail】 yokohama@balloonya.net 【URL】 <http://www.balloonya.com>

構造について



透明風船

「富士山風船」は透明風船の中に富士山型の風船が入った二重構造をしています。それぞれ別個に気体を入れてふくらませます。

富士山型風船

ふくらませ方

- 外側の透明風船は徐々に伸びる素材を使用しているので、少しずつ伸ばしていくイメージでふくらませると綺麗に丸くふくらみます。また、できるだけ暖かく湿度の多い環境でふくらませてください。
- ※急激にふくらませたり、風船が乾燥しすぎていると破裂しやすくなります。

1. ガスボンベのインフレーターやポンプの先端を風船の①の注入口に差し込み、外側の透明風船を写真と同等程度に少しだけふくらませます。



point!

風船の口の部分をしっかりと手で押さえて気体が漏れないようにしてください。



2. ②の注入口から富士山型の風船に気体を注入し、少しシワが残る程度にふくらませます。

良い例



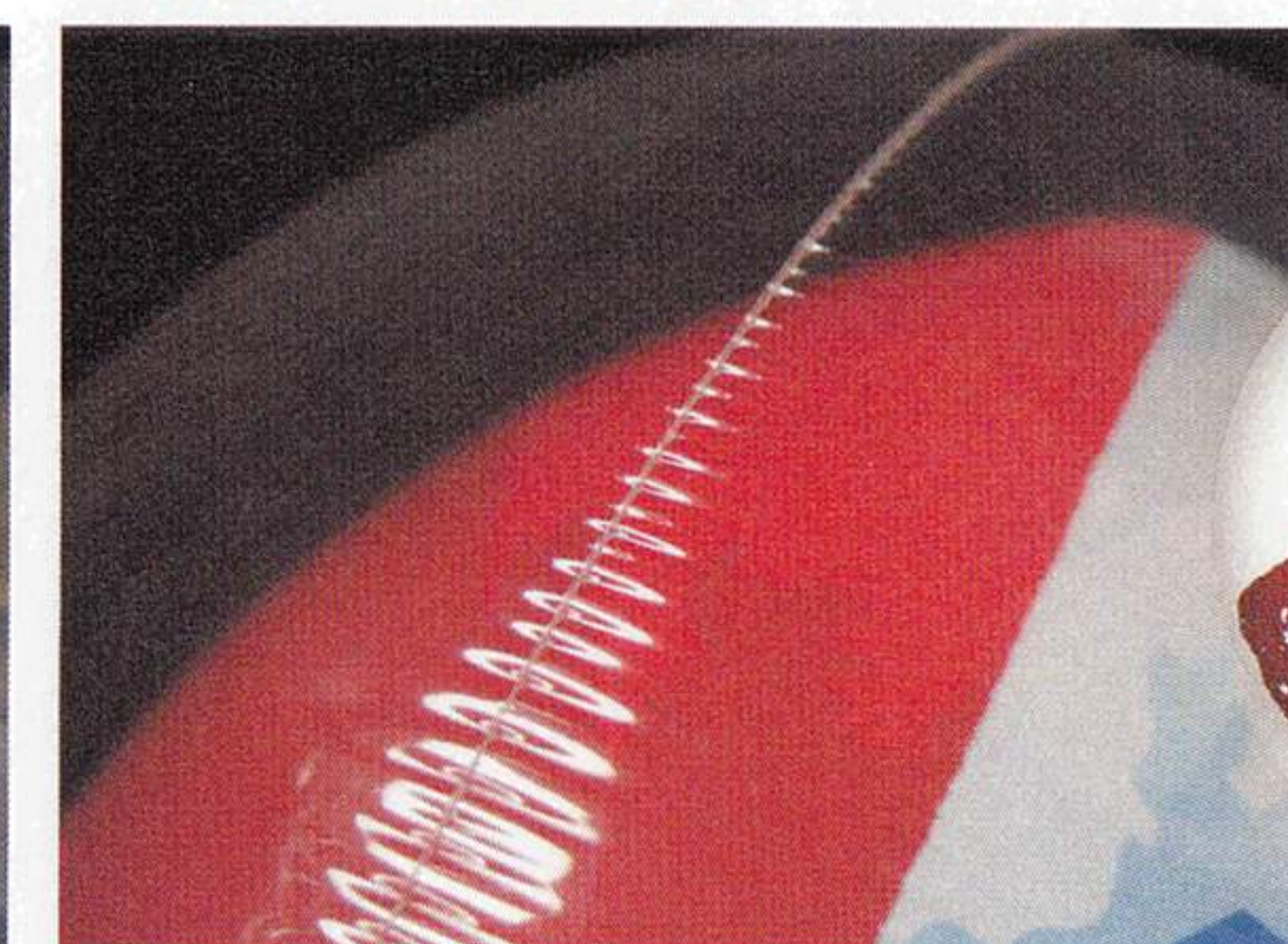
悪い例



3. 再度①の注入口からに気体を注入し、外側の透明風船も少しシワが残る程度にふくらませます。



4. ①の注入口からさらに気体をにゆっくり注入し、シワをとばして完成です。3.の状態でも10分程度そのまま置いてからふくらめるとフィルムが柔らかくなり伸びやすくなります。



完成!